

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【公開番号】特開 2000-341 (P2000-341A)  
【公開日】平成 12 年 1 月 7 日 (2000.1.7)  
【出願番号】特願 平 10-165315  
【国際特許分類第 7 版】  
A 6 3 F 5/04  
【F I】  
A 6 3 F 5/04 5 1 1 F  
A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

複数種の図柄が所定数配列され順次繰り返し表示する図柄表示部と、該図柄表示部の繰り返し表示を開始させる操作開始部と、前記図柄表示部の繰り返し表示を停止させる停止操作部と、該操作開始部の開始操作により内部抽選を行い入賞ライン上に並んで表示された図柄の組み合わせによって配当を決定する制御部とを有する図柄組合せ遊技装置において、

前記操作開始部の開始操作により表示される数値を内部抽選に応じて変化させる数値表示部を備えてなることを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【請求項 2】

前記請求項 1 記載の図柄組合せ遊技装置であって、

前記数値表示部は、内部抽選処理と連動して数値を変化させることを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【請求項 3】

前記請求項 1 又は 2 記載の図柄組合せ遊技装置であって、

前記数値表示部は、数値の組合せからなることを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【請求項 4】

前記請求項 1 記載の図柄組合せ遊技装置であって、

前記数値表示部は、入賞を外した場合に数値の組合せを変化させることを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【請求項 5】

前記請求項 1 乃至 4 記載の図柄組合せ遊技装置であって、

前記数値表示部は、停止操作部の停止操作により数値の組替えを停止させることを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【請求項 6】

複数種の図柄が所定数配列され順次繰り返し表示する図柄表示部と、該図柄表示部の繰り返し表示を開始させる操作開始部と、前記図柄表示部の繰り返し表示を停止させる停止操作部と、該操作開始部の開始操作により内部抽選を行い入賞ライン上に並んで表示された図柄の組み合わせによって配当を決定する制御部とを有する図柄組合せ遊技装置において、

前記内部抽選の結果を報知するためのスイッチを設けたことを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【請求項 7】

前記請求項 6 記載の図柄組合せ遊技装置であって、

前記スイッチの操作により内部抽選の結果を前記数値表示部に数値の組合せで表示させる手段を備えたことを特徴とする図柄組合せ遊技装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そして、パチスロ機では、上記のような 3 つの回胴間で図柄がどのように配置されるかで当たり役を決定している。そして、投入されたメダルの数に応じて、3 つの回胴の横一列の並びで当たり役を決定するか、横三列の並びで決定するか、または斜め方向も加えて決定するかが決まる。当たり役としては、単発の当たりであるシングルボーナス、所定の当たり役が数回連続するレギュラーボーナス、及びレギュラーボーナス自体がさらに数回連続するビッグボーナスなどが存在する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、本発明は以下のような特徴を有する。

上記請求項 1 記載の発明は、複数種の図柄が所定数配列され順次繰り返し表示する図柄表示部と、該図柄表示部の繰り返し表示を開始させる操作開始部と、前記図柄表示部の繰り返し表示を停止させる停止操作部と、該操作開始部の開始操作により内部抽選を行い入賞ライン上に並んで表示された図柄の組み合わせによって配当を決定する制御部とを有する図柄組合せ遊技装置において、

前記操作開始部の開始操作により表示される数値を内部抽選に応じて変化させる数値表示部を備えてなることを特徴とするものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、上記請求項 6 記載の発明は、複数種の図柄が所定数配列され順次繰り返し表示する図柄表示部と、該図柄表示部の繰り返し表示を開始させる操作開始部と、前記図柄表示部の繰り返し表示を停止させる停止操作部と、該操作開始部の開始操作により内部抽選を行い入賞ライン上に並んで表示された図柄の組み合わせによって配当を決定する制御部とを有する図柄組合せ遊技装置において、

前記内部抽選の結果を報知するためのスイッチを設けたことを特徴とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 4 2 】

次に S 4 では抽選結果により、図柄組合せが所定の確率で選定され、その図柄組合せから当選（内部当選）か外れかが決定される。すなわち、回胴 6 A ~ 6 C の引き込み図柄の組合せに応じてデジタル数値表示部 4 0 のデジタル表示部 4 0 A ~ 4 0 C に表示される数値組合せであるデジタル表示出目を決定する。

次の S 5 では、デジタル数値表示部 4 0 のデジタル表示部 4 0 A ~ 4 0 C に表示される数値を停止させ、抽選結果に対応する数値をデジタル表示部 4 0 A ~ 4 0 C に表示させる。

。

## 【 手 続 補 正 6 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 4 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 4 8 】

図 8 は変形例 2 の C P U 2 1 による制御手順を示すフローチャートである。

図 8 において、S 2 1 ~ S 2 8 の処理は上記図 6 に示す S 1 ~ S 8 の処理と同様であり、S 2 9 ~ S 3 2 の処理は上記図 7 に示す S 1 7 ~ S 2 0 の処理と同様である。

従って、S 2 4 では抽選結果により、図柄組合せが所定の確率で選定され、その図柄組合せから当選（内部当選）か外れかが決定される。すなわち、回胴 6 A ~ 6 C の引き込み図柄の組合せに応じてデジタル数値表示部 4 0 のデジタル表示部 4 0 A ~ 4 0 C に表示される数値組合せであるデジタル表示出目を決定する。